

平成27年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 100
ID 603204

【施設状況】

グループ名称	芋井公民館										
指定管理者名	芋井地区住民自治協議会							法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課			副					
構成施設	3373	芋井公民館									
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	学習室(図書室)、調理室、郷土資料室、大集会室(スライド壁で間仕切り可)、和室(研修室・会議室)										
施設設置目的	社会教育法の規定に基づき、住民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情報の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。										
基本方針等	利用者の安全対策を最優先に、地域住民及び各種団体、学校などの活動と連携を図りながら、利用者に配慮した対応を心掛け、ニーズを把握し管理運営に反映するように努め、適正な維持管理と保守点検を行う。公の施設であるということを念頭におき、公平、公正な運営を行う。										
主な実施事業	定期講座を開設すること。討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。体育・レクリエーション等に関する集会を開催すること。各種の団体、機関の連携を図ること。その施設を住民の集会その他公共的利用に供すること。貸館に関すること。										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> 協定、計画の一部が予定どおり実施されない 管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> 協定、計画が全て実施されない 管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	芋井地区住民自治協議会					指定回数	1 回	
指定期間	平成27年4月1日	～	平成30年3月31日	3年	管理運営開始日	平成27年4月1日		
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)							

2 施設の有効活用

施設利用状況		利用区分等	単位	H24	H25	H26	H27	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	芋井公民館	利用者数	人	3,151	2,632	2,447	5,049	206%	3
	芋井公民館	利用率	%	8.4	7.7	5.7	6.6	116%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 平成27年度の利用者数は、他の公民館と同様に貸し館のコマに分けて利用者をカウントしたため、平成26年度積算した利用者数と対比できない値となっている。平成26年度までの積算方法と比較すると、平成27年度は微増である。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 芋井公民館の利用の許可に関する業務 社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 芋井公民館の施設及び設備の維持管理に関する業務 芋井公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 施設、付属施設及び物品の維持管理に関する業務 							
	自主事業	提案なし							
サービス維持・向上の取組み(広報等)		メディア露出として、芋井公民館の活動内容が新聞26回、テレビ3回、その他4回取り上げられた。							

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 聞き取り</p> <p>(2) 調査、会議等の内容 学級講座では利用者を代表して数人から、イベント(バレー大会、運動会、文化芸能祭等)では、できるだけ多くの参加者から感想意見を聞いている。講師とは事前の打ち合わせと講座終了後のミーティングを実施。運動会では実行委員会(各係ごと)からアンケートを回収(100%)</p> <p>(3) 調査、会議等の結果 ①ガーデニング講座2回(3/30) ②リトミック教室2回(4/53) ③ホテル鑑賞会(10/73) ④花菖蒲植栽(15/22) ⑤葛山ハイキング(20/24) ⑥ハワイアンフラ講座(6/9) ⑦つけもの講座(6/20) ⑧チャーシュー作り(8/20) ⑨荒安だんご・かしわ餅作り(8/28) ⑩そば打ち講座(5/14) ⑪手打ちうどん講座(5/15) ⑫おやき講座(8/18) ⑬やしょうま作り講座(8/19) ⑭ふるさと学級2回(10/24) ⑮成人祝賀式(新成人14/14) ⑯文化芸能祭(20/230) ⑰健康づくり教室(8/27) ⑱連携成人学校(11/11) ⑲人権尊重の集い(5/44) ⑳地すべり対策工事現場見学(9/9児童) ㉑バレンタインチョコづくり(20/26) * ()内の数字は、聞き取り人数/参加人数</p>	4
	利用者からの評価・苦情等	<p>(1) 良好とする評価 ・講師の指導がわかりやすく、とても勉強になり有意義だった。(学級講座全般) ・身近な材料で思いのほか簡単に作れた(おやき)。上手に作るコツが分かった(チャーシュー・漬け物・うどん) ・親子で楽しく料理ができた。家で子供には包丁を持たせないがやればできることが分かった。(チョコ作り) ・昔の味を復活した過程において、世代間や地域を超えた交流ができた。(荒安だんご) ・工事現場の見学は、目的など理解してもらい貴重な体験とだったと小学校から感想(建設事務所・3業者との共催)</p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項 ・使える蒸し器が不足、時間通りに終わらなかった。(やしょうま・おやき) ・参加したかったが、チラシが回ってきたころには、すでに講座が開催した後だった。 ・駐車場が不足なかった。(文化芸能祭)</p> <p>《対応措置》 ・開催日の検討とチラシを確実に回覧できるよう、区長宛に配布し館内の掲示時期も少し早めた。 ・効率よく作業ができるよう蒸し器を購入した。(やしょうま・おやき) ・駐車場に関しては、できるだけ乗り合わせで来ていただくことと、小学校に協力をお願いすることとした。</p>	

4 事業収支

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成27年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成27年度決算		平成26年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料	7,790	使用料	820	3
	指定管理料	9,932,000	指定管理料	9,932,000	雑（納付金）		雑（納付金）	20,470	
委託料		委託料		行政財産目的外使用料	3,173	行政財産目的外使用料	2,950		
販売収入等		販売収入等		その他		その他			
その他収入	13,000	その他収入	39,721	歳入					
計	9,945,000	計	9,971,721	計	10,963	計	24,240		
支出	人件費	6,734,000	人件費	6,672,896	指定管理料	9,932,000	指定管理料		
	設備管理費	196,000	設備管理費	186,420	委託料		委託料		
	備品購入費		備品購入費		需用費		需用費	814,839	
	修繕費	291,000	修繕費		役務費		役務費	226,336	
	光熱水費	633,000	光熱水費	1,098,891	使用料・賃借料		使用料・賃借料	100,366	
	事業費	408,000	事業費	175,720	修繕費		修繕費		
	事務経費	1,612,000	事務経費	1,802,766	歳出		工事請負費	84,240	
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
その他	71,000	その他		その他		その他	11,263,249		
計	9,945,000	計	9,936,693	計	9,932,000	計	12,489,030		
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		35,028	差引	-9,921,037		-12,464,790	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成27年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								67.2%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員1人(1人) 計3人(3人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	3
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした学習学習を進める。 ・地域課題の掘り起こしや地区内の人材発掘と育成に努める。 ・地域公民館との連携に努め、必要な指導や助言を行う。 ・地区内の雇用。 	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由

指定管理者の健全性、施設の有効活用、事業収支、管理運営全般、危機管理体制、地域連携は、計画どおり運営されていた。聞き取りによる評価は良好な意見が多かった。また、利用者の意見に機敏に対応、解消し、小学校へ協力を求めるなど迅速な改善を図ったため、「利用者評価」は「4」とした。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題

改善状況

改善案等 (改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

- ・ 芋井地区住民自治協議会のホームページ及びツイッター (家庭・地域学びの課) の活用を図り、利用促進を図る。
- ・ 学校や各種団体との共催事業の拡大を図る。

指定管理者自己評価

C

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・井地区内への広報活動は公民館報(年3回)、区民運動会と文化芸能祭については全戸配布をし、学級講座などは回覧で、周知を図り参加を呼び掛けている。
- ・芋井公民館運営委員会をはじめ、利用者(学級講座や各種行事)からの感想や意見は公民館の運営に反映している。
- ・情報収集及び発信については、マスメディアを積極的に活用し、情報発信を行っている。
- ・コストの削減を図り、利用者のニーズや利便を考え、事業の充実と備品購入に充て利用者へ還元した。
- ・地域の人材を発掘・活用することにより、地域の活性化を図った。
- ・芋井甚句保存会が、善光寺御開帳の時に行われた「門前町大縁日」に参加できるよう計画した。
- ・地域住民からの要望に応じて「芋井の歴史を学ぶ会」を発足し活動を展開している。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・利用者の要望等は学級講座やイベントごとに聞き取り調査をし、公民館事業や運営に反映している。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・少子高齢化は進んでいる中で、多くの高齢者は何とかしようとチャレンジしている。(大豆作り・焼酎を造る会等)農繁期はもちろん、学校を含む各種の行事を避けた日程を組んでいるが、公民館利用となると多くを望むことはできない。

(3) 次年度以降の取組み

- ・芋井公民館の利用促進を図るため、芋井地区住民自治協議会のホームページとツイッター(家庭地域学びの課)の活用を図りたい。
- ・指定管理の公民館同士の情報交換を行い、交流事業を図りたい。
- ・これまで以上に、学校や各種団体との共催を図りたい。

【指定管理者自己評価基準】

A: 計画や目標を上回る、B: 計画や目標をやや上回る、C: 計画や目標どおり、D: 計画や目標をやや下回る、E: 計画や目標を下回る